

**奥越喫煙対策推進事業**

**児童生徒・保護者のたばこに関する意識調査**

**結果報告書**

**平成 20 年 2 月**

**奥越喫煙対策推進委員会**

**奥越健康福祉センター**

健康増進法の施行（平成 15 年 5 月 1 日）により受動喫煙の防止に関する規定が設けられて以来、たばこの害と健康への関心がより高まり、地域においても喫煙対策を実施している施設や事業者等が増えるなど喫煙環境は大きく変化しています。

奥越健康福祉センターでは、第 4 次奥越地域保健医療計画（15～19 年）の中で喫煙対策の推進を位置付け、“奥越喫煙対策推進委員会”を設置し、防煙対策・分煙対策・禁煙支援を柱とした喫煙対策を、関係機関と連携をとりながら、総合的に推進してきました。

その中で、未成年者に対する“防煙対策”については、各関係機関においても様々な取り組みがなされておりますが、奥越喫煙対策推進委員会では、平成 16 年度に児童生徒と保護者を対象に「たばこに関するアンケート調査」を実施しました。その調査により現状を把握し、家庭・学校・地域が連携して喫煙防止対策をより推進していくために、パンフレットや喫煙防止教育教材の作成、研修会の開催、学校に出向いての喫煙防止教育等を実施してきました。

本年度、子どもや保護者の方の意識や行動がどのように変化しているのかを明らかにし、今後の未成年者に対する“防煙対策”を再検討するために、平成 16 年度と同様の意識調査を実施しました。その調査結果がまとまりましたので報告いたします。

この結果が今後更なる未成年者の喫煙防止に向けて家庭・学校・地域において取り組むべき対策に活用されれば幸いです。

## 1. 調査目的

平成 16 年度、19 年度に実施した、たばこに関する意識調査により、奥越地域の児童生徒や保護者の「喫煙状況」や「喫煙に関する意識」の変化を明らかにすることで、今後の喫煙対策のあり方を検討する。

## 2. 対象と調査方法

### (1) 対象

管内の小学校 4～6 年、中学校 1～3 年、高等学校 1～3 年の各学年 1 クラスの児童生徒とその保護者

### (2) 調査項目

児童生徒：たばこの印象、たばこの害の知識、家族の喫煙者の状況、喫煙経験の有無や現在の喫煙状況、たばこの入手方法、友人の喫煙状況、20 歳になった時の喫煙についての 17 項目

保護者：たばこの害の知識、受動喫煙の害の知識、家庭内の喫煙者、家庭内の喫煙時の取り決め、子供の喫煙状況、子供（我が子や地域での）の喫煙時の対処方法、保護者の考える喫煙防止対策についての 13 項目

### (3) 調査方法

各学校を通して児童生徒用、保護者用の調査票を配布した。回答は無記名とし、個人ごとに返信用封筒に入れ、密封した状態で学校にて回収することとした。

### (4) 実施時期

平成 16 年度：(配布) 4 月下旬～5 月上旬 (回収) 6 月上旬

平成 19 年度：(配布) 6 月下旬～7 月上旬 (回収) 7 月下旬

### (5) 回収状況

年度	平成 16 年度			平成 19 年度		
	対象者数	回収数 (率)		対象者数	回収数 (率)	
		児童生徒	保護者		児童生徒	保護者
小学校	1,292	1,228(95.0)	1,215(94.0)	1,262	1,144(90.6)	1,128(89.4)
中学校	732	687(93.9)	691(94.4)	602	595(98.8)	584(97.0)
高等学校	475	433(91.2)	358(75.4)	396	381(96.2)	331(83.8)
合計	2,449	2,343(94.0)	2,264(90.6)	2,260	2,120(93.8)	2,043(90.4)

(6) 集計方法 奥越健康福祉センターにて Excel に入力・集計し、比較検討した。



#### 4. 児童生徒 調査結果

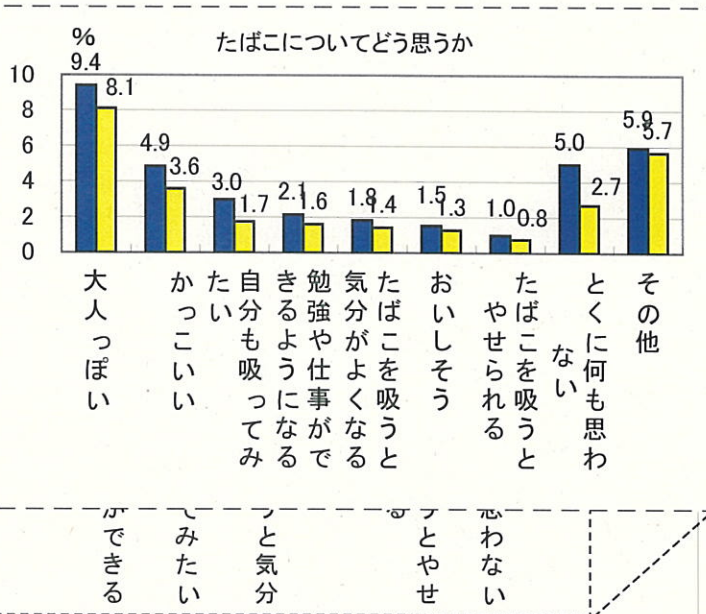
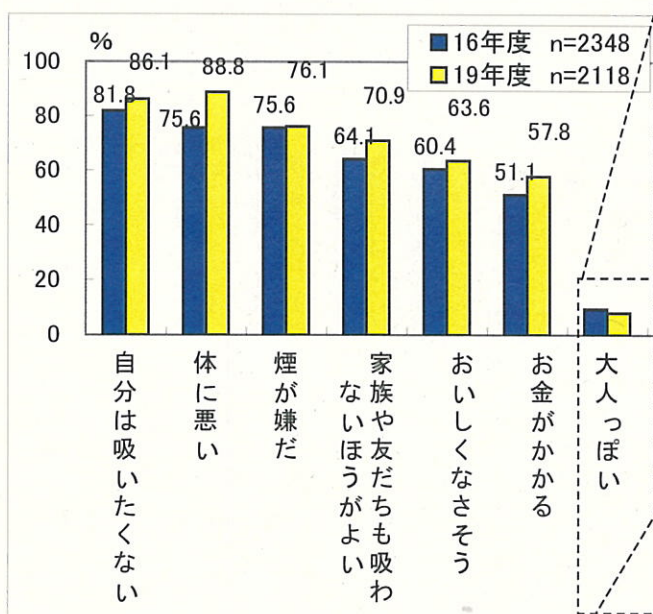
##### (1) 性別

学年	16年度					19年度					
	男		女		合計	男		女		不明	合計
	人数	%	人数	%		人数	%	人数	%		
小4	198	52.5	179	47.5	377	187	50.3	185	49.7	5	377
小5	241	55.1	196	44.9	437	215	52.4	195	47.6	1	411
小6	220	53.1	194	46.9	414	188	53.3	165	46.7	3	356
中1	124	55.4	100	44.6	224	89	49.2	92	50.8	2	183
中2	130	52.0	120	48.0	250	110	52.1	101	47.9		211
中3	113	53.1	100	46.9	213	101	50.2	100	49.8		201
高1	57	42.9	76	57.1	133	66	51.2	63	48.8		129
高2	89	59.7	60	40.3	149	67	56.3	52	43.7	1	120
高3	96	63.6	55	36.4	151	91	69.5	40	30.5	1	132
合計	1,268	54.0	1,080	46.0	2,348	1,114	52.9	993	47.1	13	2,120

##### (2) たばこについてどう思うか(複数回答)

「身体に悪い」「自分は吸いたくない」といったたばこへの悪いイメージの回答の割合が増えている一方、「大人っぽい」「カッコいい」などの良いイメージの回答の割合は減少している。

	16年度		19年度	
	数	%	数	%
自分は吸いたくない	1,920	81.8	1,826	86.1
家族や友だちも吸わないほうがよい	1,506	64.1	1,503	70.9
おいしくなさそう	1,419	60.4	1,348	63.6
体に悪い	1,776	75.6	1,882	88.8
お金がかかる	1,201	51.1	1,226	57.8
煙が嫌だ	1,776	75.6	1,613	76.1
勉強や仕事ができるようになる	50	2.1	34	1.6
大人っぽい	221	9.4	172	8.1
カッコいい	114	4.9	76	3.6
おいしそう	36	1.5	27	1.3
自分も吸ってみたい	70	3.0	37	1.7
たばこを吸うとやせられる	23	1.0	16	0.8
たばこを吸うと気分がよくなる	43	1.8	30	1.4
とくに何も思わない	117	5.0	57	2.7
その他	139	5.9	120	5.7
回答者数	2348		2,118	

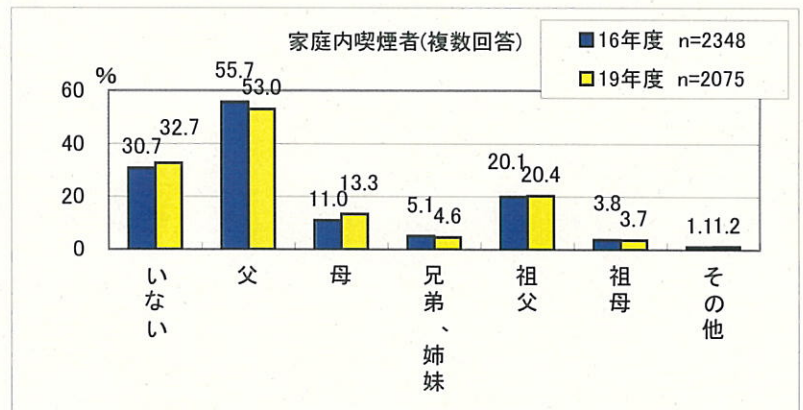




(3) 家族でたばこを吸う人がいるか(複数回答)

家庭内に喫煙者のいる割合は減少している。喫煙率は、父親の割合が減少している一方、母親はの割合は増加している。

	16年		19年	
	数	%	数	%
いない	722	30.7	679	32.7
父	1,308	55.7	1,099	53.0
母	259	11.0	277	13.3
兄弟、姉妹	119	5.1	96	4.6
祖父	471	20.1	423	20.4
祖母	89	3.8	76	3.7
その他	25	1.1	24	1.2
回答者数	2348		2,075	

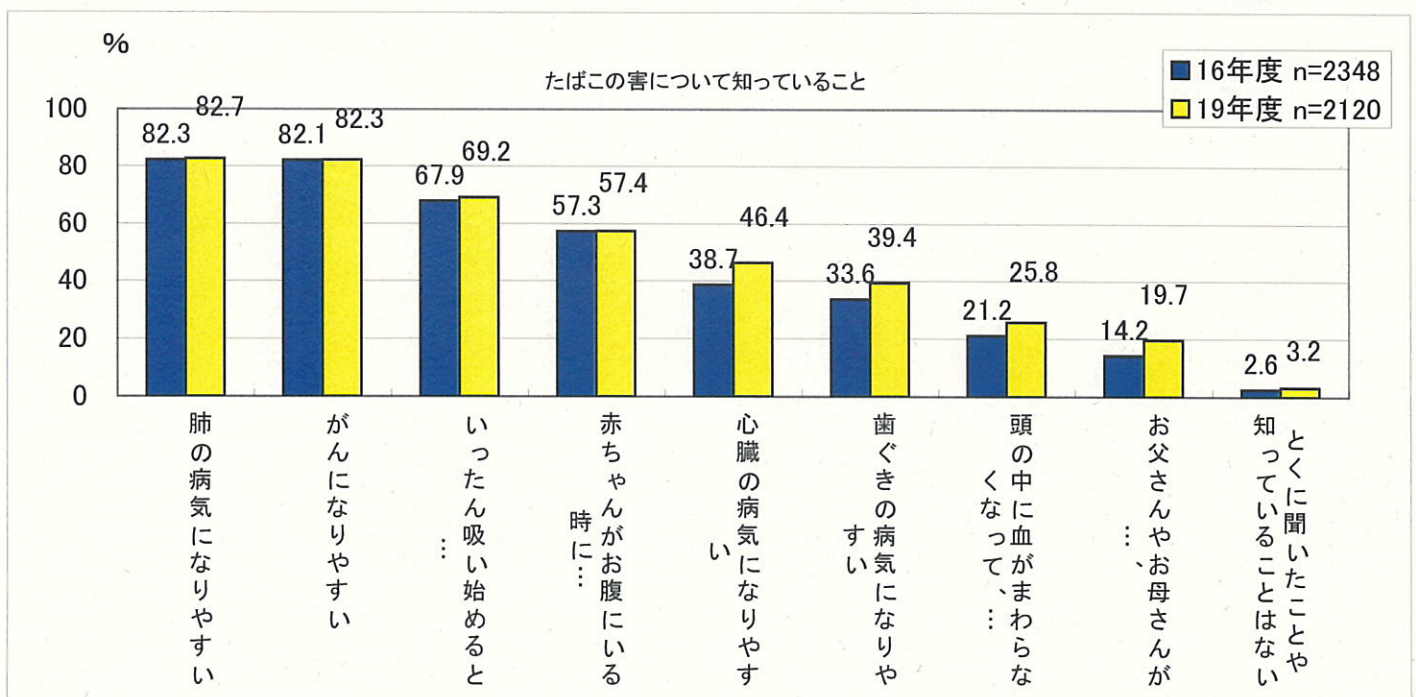


(4) たばこの害について、いままで聞いたことや知っていること(複数回答)

「肺の病気になりやすい」「がんになりやすい」で、多くの児童生徒が知っているという回答している。他に、たばこの依存性、妊婦の喫煙による胎児への影響についても、知っているとの回答の割合が多かった。

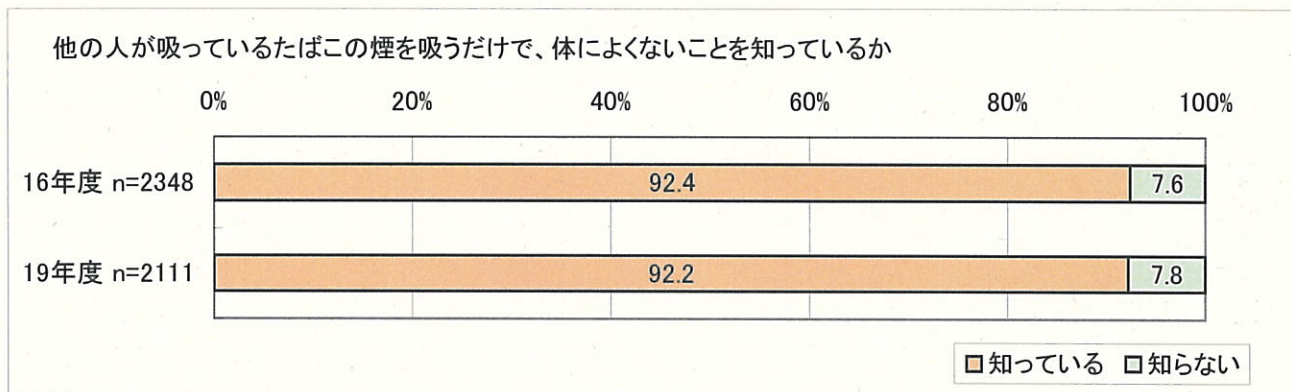
また、「心臓の病気になりやすい」「歯ぐきの病気になりやすい」といった、認知度の低かった病気について知っているという回答した割合が増加している。

	16年度		19年度	
	数	%	数	%
肺の病気になりやすい	1,933	82.3	1,754	82.7
がんになりやすい	1,928	82.1	1,745	82.3
いったん吸い始めると、吸わないとがまんができなくなり、いらいらしたりする	1,595	67.9	1,466	69.2
赤ちゃんがお腹にいる時にお母さんがたばこを吸うと、体重の少ない赤ちゃんや体の弱い赤ちゃんが生まれやすい	1,346	57.3	1,217	57.4
心臓の病気になりやすい	908	38.7	983	46.4
歯ぐきの病気になりやすい	790	33.6	835	39.4
頭の中に血がまわらなくなって、手足が動かなくなったり、気を失ったりしやすい	497	21.2	546	25.8
お父さんやお母さんがたばこを吸うと、赤ちゃんが急に死んでしまうことがある	333	14.2	417	19.7
とくに聞いたことや知っていることはない	60	2.6	68	3.2
回答者数	2348		2,120	





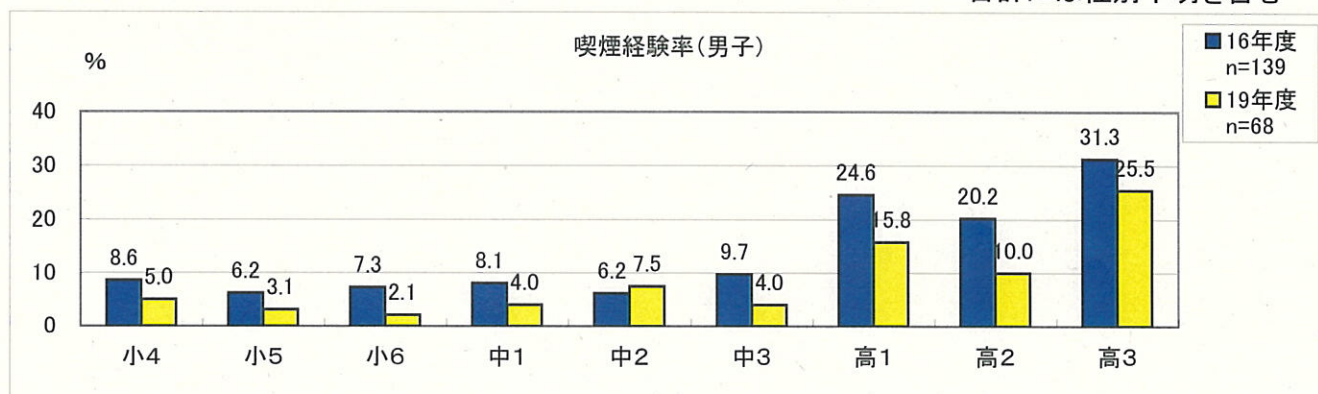
(5)他の人が吸っているたばこの煙を吸うだけで、体によくないことを知っているか  
 16年度、19年度ともに、「知っている」との回答が約92%であった。



(6)今までにたばこを一口でも吸ったことがあるか  
 16年度に比較し、19年度の喫煙経験者の割合は減少している。特に、高校生の喫煙経験率の低下が顕著である。

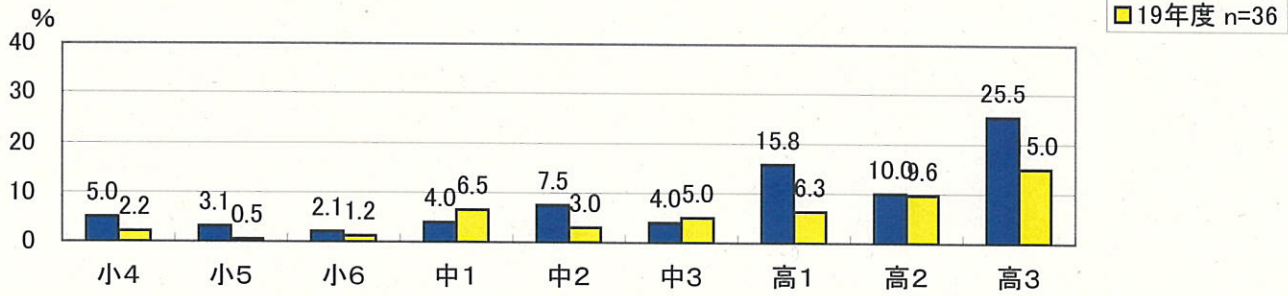
	16年度												合計		
	男				女				合計						
	ない		ある		計	ない		ある		計	ない			ある	
数	%	数	%	数		%	数	%	数		%	数	%		
小4	181	91.4	17	8.6	198	170	95.0	9	5.0	179	351	93.1	26	6.9	377
小5	226	93.8	15	6.2	241	190	96.9	6	3.1	196	416	95.2	21	4.8	437
小6	204	92.7	16	7.3	220	190	97.9	4	2.1	194	394	95.2	20	4.8	414
中1	114	91.9	10	8.1	124	96	96.0	4	4.0	100	210	93.8	14	6.3	224
中2	122	93.8	8	6.2	130	111	92.5	9	7.5	120	233	93.2	17	6.8	250
中3	102	90.3	11	9.7	113	96	96.0	4	4.0	100	198	93.0	15	7.0	213
高1	43	75.4	14	24.6	57	64	84.2	12	15.8	76	107	80.5	26	19.5	133
高2	71	79.8	18	20.2	89	54	90.0	6	10.0	60	125	83.9	24	16.1	149
高3	66	68.8	30	31.3	96	41	74.5	14	25.5	55	107	70.9	44	29.1	151
合計	1,129	89.0	139	11.0	1,268	1,012	93.7	68	6.3	1,080	2,141	91.2	207	8.8	2,348
	19年度												合計		
	男				女				合計						
	ない		ある		計	ない		ある		計	ない			ある	
数	%	数	%	数		%	数	%	数		%	数	%		
小4	176	96.2	7	3.8	183	181	97.8	4	2.2	185	362	97.1	11	2.9	373
小5	207	97.6	5	2.4	212	191	97.9	1	0.5	195	399	98.5	6	1.5	405
小6	171	91.4	16	8.6	187	162	98.2	2	1.2	165	335	94.9	18	5.1	353
中1	80	92.0	7	8.0	87	86	93.5	6	6.5	92	168	92.8	13	7.2	181
中2	105	96.3	4	3.7	109	96	95.0	3	3.0	101	201	96.6	7	3.4	208
中3	92	92.9	7	7.1	99	93	93.0	5	5.0	100	201	93.9	12	6.1	197
高1	61	93.8	4	6.2	65	58	92.1	4	6.3	63	119	93.7	8	6.3	127
高2	53	81.5	12	18.5	65	47	90.4	5	9.6	52	100	84.7	18	15.3	118
高3	71	78.0	20	22.0	91	34	85.0	6	15.0	40	105	80.2	26	19.8	131
合計	1016	92.5	82	7.5	1,098	948	95.5	36	3.6	993	1,974	94.3	119	5.7	2,093

\* 合計には性別不明を含む





喫煙経験率(女子)



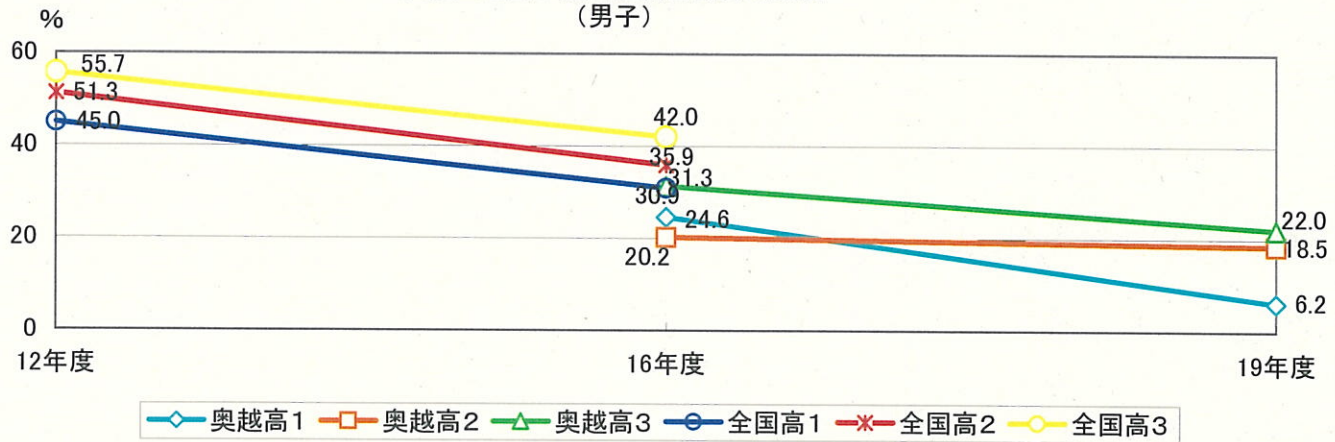
<奥越地区と全国の高校生の喫煙経験者割合の比較>

奥越の喫煙経験者率は、全国と比較し低いことが分かる。また、全国的にも喫煙経験率は低下しており、奥越の喫煙経験率の低下と同様の傾向である。

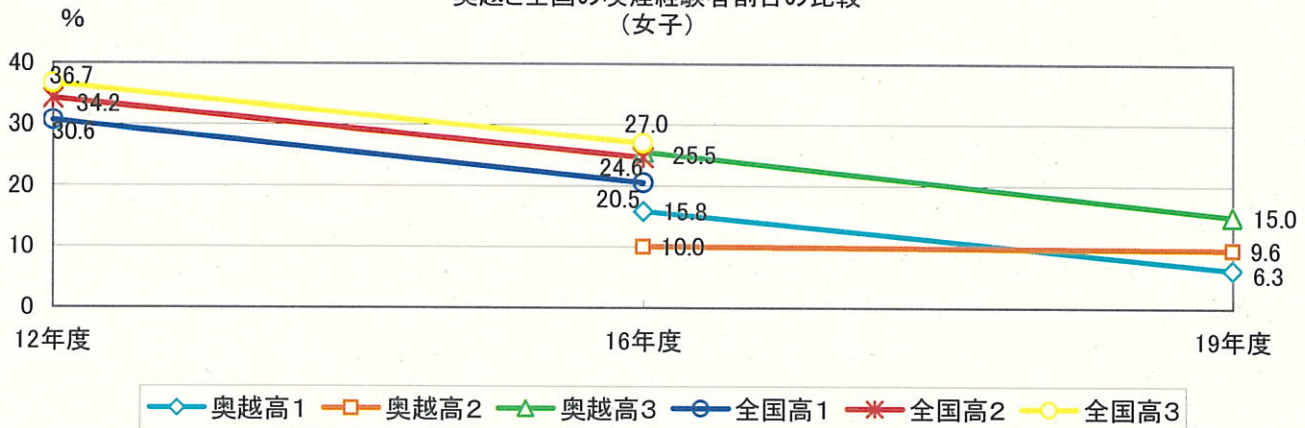
	12年度		16年度		19年度	
	全国	奥越	全国	奥越	全国	奥越
男子高1	45.0		30.9	24.6		15.8
高2	51.3		35.9	20.2		18.5
高3	55.7		42.0	31.3		22.0
女子高1	30.6		20.5	15.8		6.3
高2	34.2		24.6	10.0		9.6
高3	36.7		27.0	25.5		15.0

\* 全国のデータは、厚生科学特別研究事業「未成年者の喫煙および飲酒行動に関する全国調査」2000の数値を引用

奥越と全国の喫煙経験者割合の比較 (男子)



奥越と全国の喫煙経験者割合の比較 (女子)



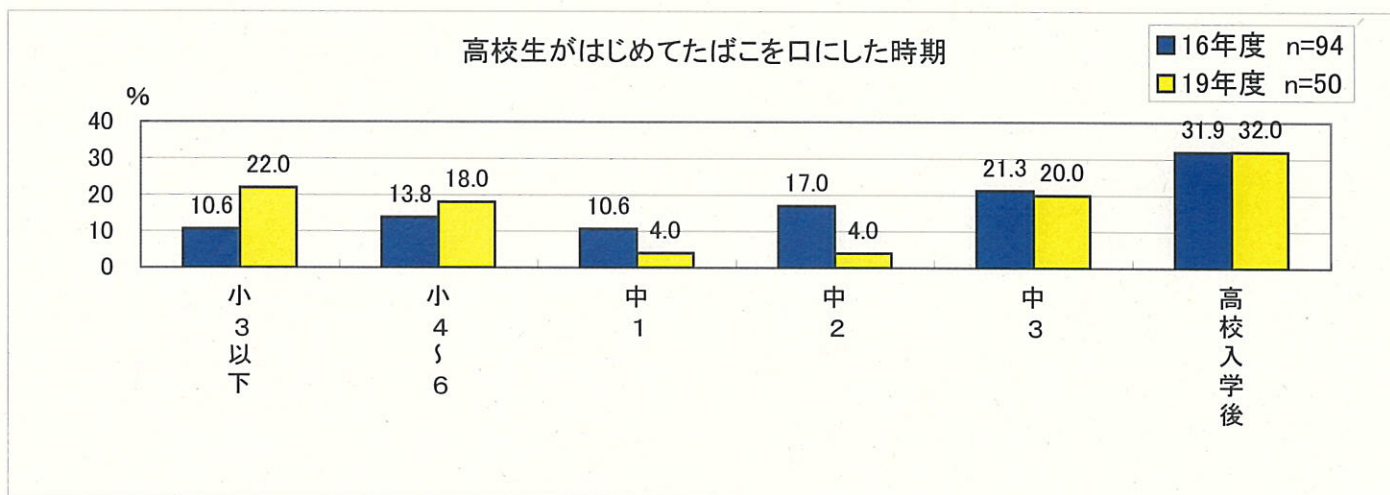
(7)たばこをはじめて口にした時期

16年度と19年度の高校生が、初めてたばこを口にした時期を比較すると、中学生で初めてたばこを吸ったとの回答が減少していることが分かる。

16年度																	
	小学3年以下		小4～小6		中1		中2		中3		高1		高2		高3		合計
	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	
小4	21		5														26
小5	11		10														21
小6	13		6														19
中1	5		8		1												14
中2	6		11		1												18
中3	5		7		1		2										15
高1	3	11.5	5	19.2	4	15.4	8	30.8	5	19.2	1	3.8					26
高2	2	8.3	2	8.3	3	12.5	7	29.2	5	20.8	5	0.0	0	0.0	0	0.0	24
高2	2	8.3	2	8.3	3	12.5	7	29.2	5	20.8	5	0.0	0	0.0			24
高3	5	11.4	6	13.6	3	6.8	1	2.3	10	22.7	8	18.2	9	20.5	2	4.5	44
合計	73	35.3	62	30.0	16	7.7	25	12.1	25	12.1	19	9.2	9	4.3	2	1.0	207

19年度																	
小4	4		5														9
小5	4		0														4
小6	9		8														17
中1	4		7		1												12
中2	3		4														7
中3	5		4		1												10
高1	4	50.0	2	25.0		0.0		0.0	1	12.5	1	12.5					8
高2	1	5.9	5	29.4	1	5.9		0.0	3	17.6	7	41.2	0	0.0			17
高3	6	24.0	2	8.0	1	4.0	2	8.0	6	24.0	6	24.0	2	8.0	0	0.0	25
合計	40	36.7	37	33.9	4	3.7	2	1.8	10	9.2	14	12.8	2	1.8	0	0	109



\* 表の点線内をグラフにし、比較している。

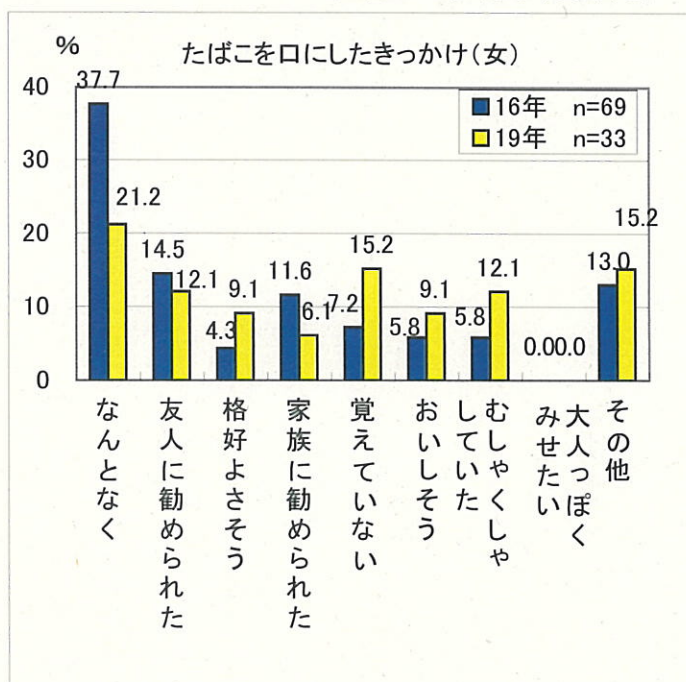
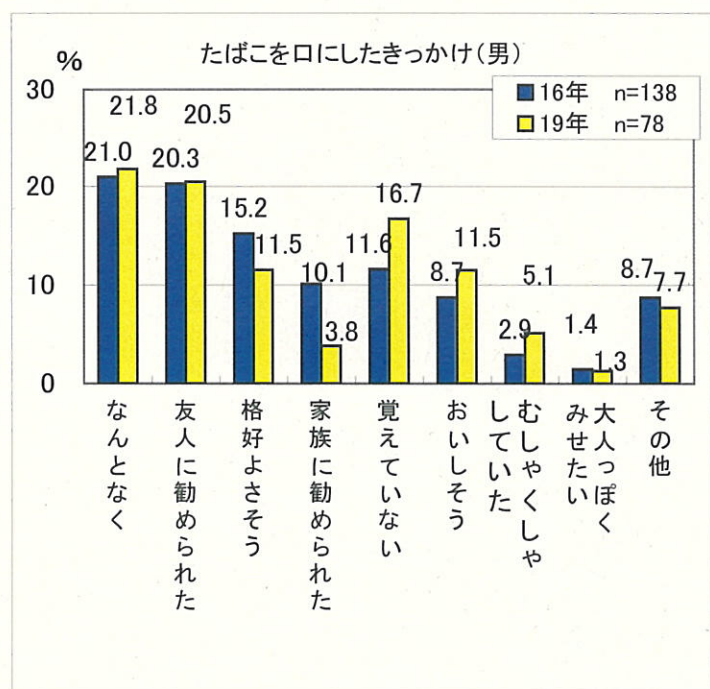


(8)たばこを口にしたきっかけは

全体的に「家族に勧められた」の割合が低下している。小学生では「なんとなく」「覚えていない」といった回答の割合が増加し、中学生、高校生では「友人に勧められた」の割合が高い。「その他」の回答では、「あったから吸ってみた」「遊んでいて何だろうと思って吸ってみた」「家族からもらった」などの回答がみられた。

16年度																			
	格好よさそう		大人っぽく見せたい		おいしそう		むしゃくしゃしていた		友人に勧められた		家族に勧められた		なんとなく		覚えていない		その他		合計
	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	
男	21	15.2	2	1.4	12	8.7	4	2.9	28	20.3	14	10.1	29	21.0	16	11.6	12	8.7	138
女	3	4.3	0	0.0	4	5.8	4	5.8	10	14.5	8	11.6	26	37.7	5	7.2	9	13.0	69
合計	24	11.6	2	1.0	16	7.7	8	3.9	38	18.4	22	10.6	55	26.6	21	10.1	21	10.1	207
小4	0	0.0	0	0.0	3	11.5	1	3.8	0	0.0	5	19.2	13	50.0	3	11.5	1	3.8	26
小5	6	28.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	4.8	3	14.3	6	28.6	3	14.3	2	9.5	21
小6	1	5.3	1	5.3	2	10.5	0	0.0	2	10.5	4	21.1	3	15.8	3	15.8	3	15.8	19
中1	1	7.1	0	0.0	3	21.4	0	0.0	0	0.0	2	14.3	2	14.3	2	14.3	4	28.6	14
中2	0	0.0	0	0.0	1	3.8	1	3.8	4	15.4	3	11.5	6	23.1	0	0.0	3	11.5	18
中3	3	20.0	0	0.0	1	6.7	1	6.7	2	13.3	1	6.7	2	13.3	3	20.0	2	13.3	15
高1	3	11.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	11	42.3	3	11.5	5	19.2	3	11.5	1	3.8	26
高2	4	16.7	0	0.0	4	16.7	0	0.0	6	25.0	1	4.2	8	33.3	0	0.0	1	4.2	24
高3	6	13.6	1	2.3	2	4.5	5	11.4	12	27.3	0	0.0	10	22.7	4	9.1	4	9.1	44
合計	24	11.6	2	1.0	16	7.7	8	3.9	38	18.4	22	10.6	55	26.6	21	10.1	21	10.1	207
19年度																			
男	9	11.5	1	1.3	9	11.5	4	5.1	16	20.5	3	3.8	17	21.8	13	16.7	6	7.7	78
女	3	9.1	0	0.0	3	9.1	4	12.1	4	12.1	2	6.1	7	21.2	5	15.2	5	15.2	33
合計	12	10.7	1	0.9	12	10.7	8	7.1	20	17.9	5	4.5	25	22.3	18	16.1	11	9.8	112
小4	1	11.1	0	0.0	3	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	33.3	1	11.1	1	11.1	9
小5	1	16.7	0	0.0	1	16.7	1	16.7	0	0.0	1	16.7	0	0.0	1	16.7	1	16.7	6
小6	2	11.8	0	0.0	2	11.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	8	47.1	3	17.6	2	11.8	17
中1	1	10.0	0	0.0	1	10.0	0	0.0	2	20.0	1	10.0	1	10.0	3	30.0	1	10.0	10
中2	2	28.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	14.3	0	0.0	1	14.3	1	14.3	2	28.6	7
中3	1	9.1	0	0.0	1	9.1	0	0.0	1	9.1	0	0.0	2	18.2	3	27.3	3	27.3	11
高1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	25.0	2	25.0	1	12.5	2	25.0	1	12.5	8
高2	1	5.6	0	0.0	2	11.1	3	16.7	5	27.8	0	0.0	6	33.3	1	5.6	0	0.0	18
高3	3	11.5	1	3.8	2	7.7	4	15.4	9	34.6	1	3.8	3	11.5	3	11.5	0	0.0	26
合計	11	9.9	1	0.9	12	10.8	8	7.2	20	18.0	5	4.5	25	22.5	18	16.2	11	9.9	112

\* 合計には性別不明を含む

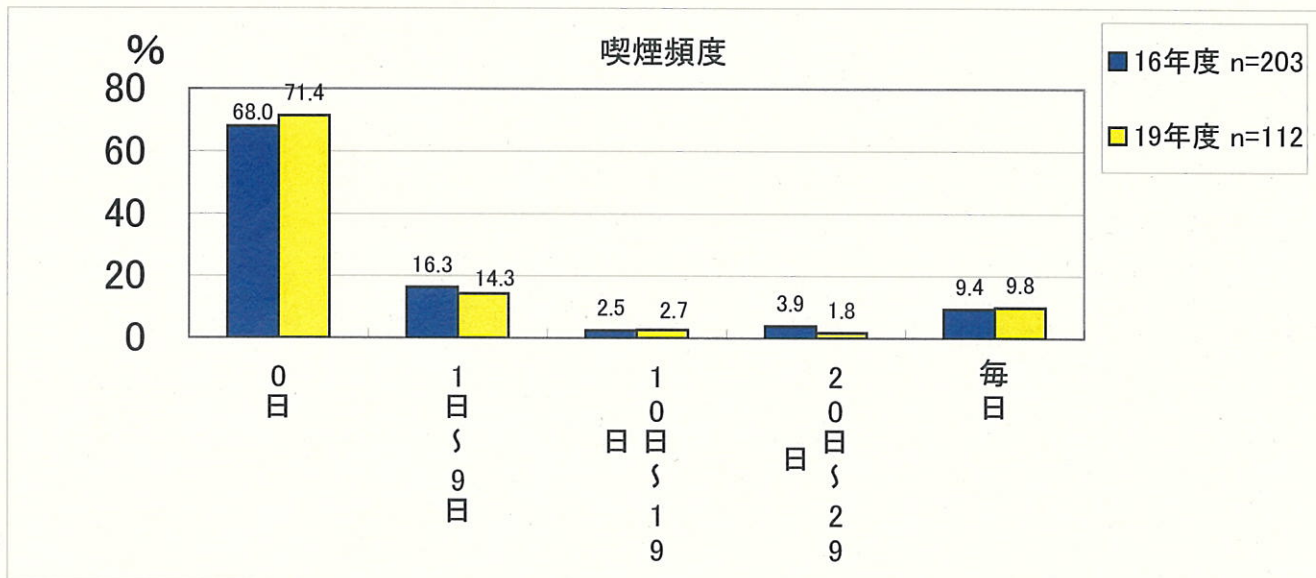




(9) この30日間に何日たばこを吸ったか

16年度、19年度ともに、口にしたことのある児童生徒の約9%が毎日喫煙をしており、そのほとんどが高校生である。

	0日	1、2日	3～5日	6～9日	10～19日	20～29日	毎日	合計
16年度	男	94	16	2	0	4	8	137
	女	44	11	3	1	1	0	66
	合計	138	27	5	1	5	8	203
	小4	16	8	1	0	1	0	26
	小5	13	6	0	0	2	0	21
	小6	15	4	0	0	0	0	19
	中1	14	0	0	0	0	0	14
	中2	17	1	0	0	0	0	18
	中3	14	0	0	0	0	1	15
	高1	16	1	3	0	0	1	22
	高2	15	1	1	1	0	2	24
	高3	18	5	1	0	2	4	44
	合計	138	26	6	1	5	8	203
19年度	男	53	11	2		1	2	79
	女	26		2	1	2		32
	合計	80	11	4	1	3	2	112
	小4	4	2	1	1			9
	小5	5						5
	小6	12	5					17
	中1	11				1		12
	中2	4	1	1				6
	中3	10		1				11
	高1	7					1	8
	高2	11	2	1		1		18
	高3	16	1			1	1	26
	合計	80	11	4	1	3	2	112





(10) たばこを吸った日は、1日何本くらい吸ったか  
 1日に10本以上吸っている児童生徒の割合が増加している。

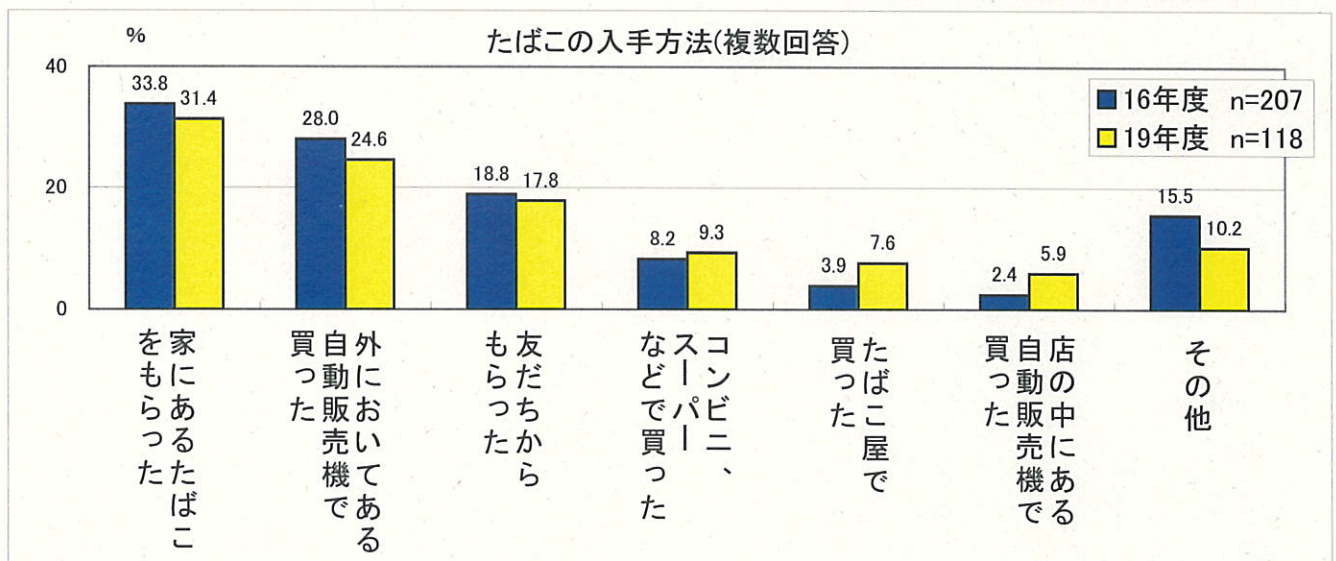
	1本に満たない		1～9本		10～19本		20本以上		合計
	数	%	数	%	数	%	数	%	
16年度	20	30.3	35	53.0	7	10.6	4	6.1	66
19年度	11	34.4	10	31.3	6	18.8	5	15.6	32



(11) たばこの入手方法(複数回答)

16年度、19年度ともに「家にあるたばこをもらった」との回答の割合が高く、ついで「外においてある自動販売機で買った」「友だちからもらった」であった。また、「コンビニ、スーパーなどで買った」「たばこ屋で買った」との回答の割合が増加している。「その他」の回答では、「落ちていたのを吸った」との回答が多く見られた。

項目	16年度		19年度	
	数	%	数	%
家にあるたばこをもらった	70	33.8	37	31.4
外においてある自動販売機で買った	58	28.0	29	24.6
友だちからもらった	39	18.8	21	17.8
コンビニエンスストア、スーパーマーケットなどの店で買った	17	8.2	11	9.3
たばこ屋で買った	8	3.9	9	7.6
店の中にある自動販売機で買った	5	2.4	7	5.9
その他	32	15.5	12	10.2
回答者	207		118	

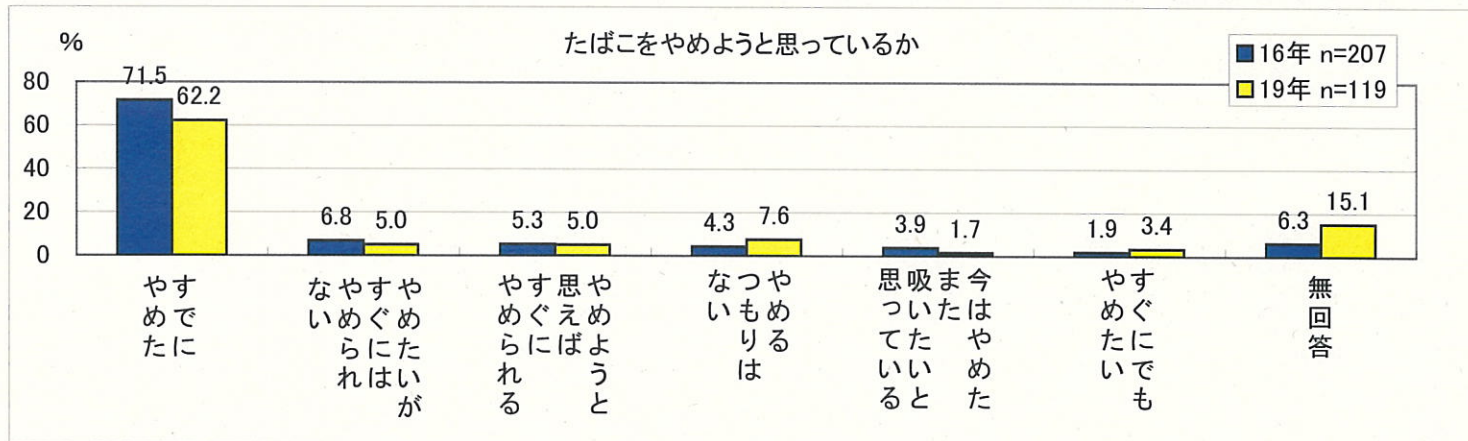




(12) たばこをやめようと思っているか

16年度、19年度ともに「すでにやめた」との回答の割合が多かった。「すぐにでもやめたい」「やめたいがすぐにはやめられない」との禁煙意志のみられる回答は約8%であった。

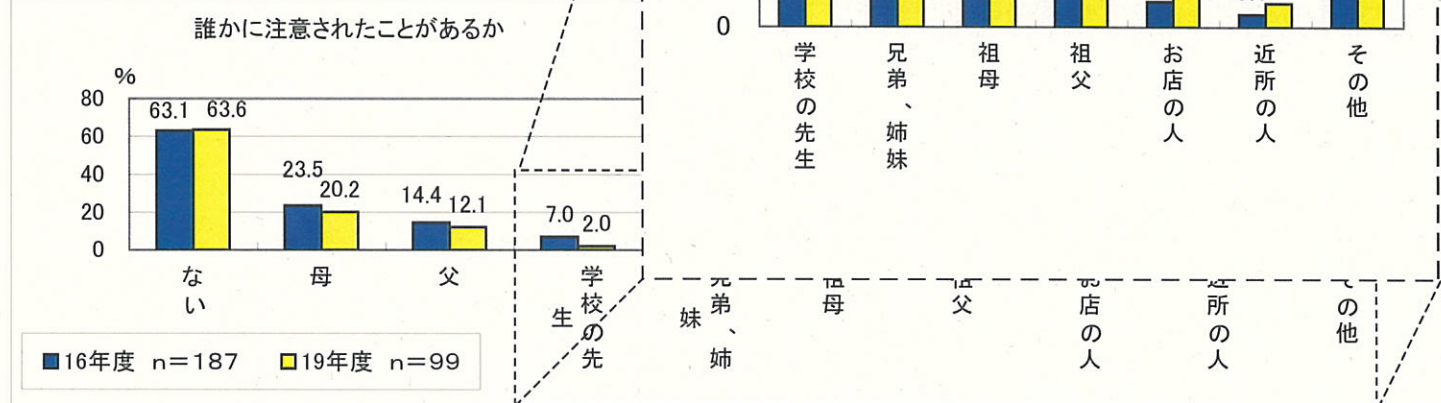
		すでにやめた		やめたいがすぐにはやめられない		やめようと思えばすぐに止められる		やめるつもりはない		今はやめたがまた吸いたいと思っている		すぐにでもやめたい		無回答	合計	
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%			
16年度	男	98	71.0	9	6.5	5	3.6	8	5.8	6	4.3	4	2.9	8	5.8	138
	女	50	72.5	5	7.2	6	8.7	1	1.4	2	2.9	0	0.0	5	7.2	69
	合計	148	71.5	14	6.8	11	5.3	9	4.3	8	3.9	4	1.9	13	6.3	207
19年度	男	52	63.4	5	6.1	5	6.1	8	9.8	1	1.2	3	3.7	8	9.8	82
	女	21	58.3	1	2.8	1	2.8	1	2.8	1	2.8	1	2.8	10	27.8	36
	合計	74	62.2	6	5.0	6	5.0	9	7.6	2	1.7	4	3.4	18	15.1	119



(13) 誰かに注意されたことがあるか(複数回答)

16年度、19年度ともに、誰にも注意されたことが「ない」との回答の割合が60%以上あり、また特に「学校の先生」から注意を受けた児童生徒の割合が減少している。

	16年		19年	
	数	%	数	%
ない	118	63.1	63	63.6
父	27	14.4	12	12.1
母	44	23.5	20	20.2
兄弟、姉妹	8	4.3	4	4.0
祖父	5	2.7	2	2.0
祖母	7	3.7	2	2.0
学校の先生	13	7.0	2	2.0
近所の人	1	0.5	1	1.0
お店の人	2	1.1	2	2.0
その他	7	3.7	2	2.0
回答者数	187		99	

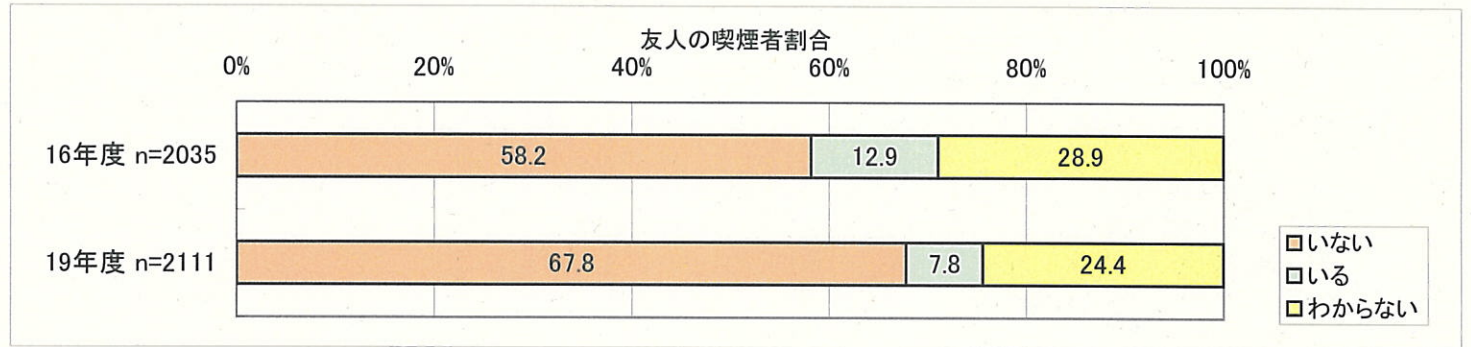




(14) 友人にたばこを吸う人はいるか

友人の中でたばこを吸う人が「いない」との回答の割合が増加している。しかし、高校生での友人の喫煙率は依然高い傾向がみられる。

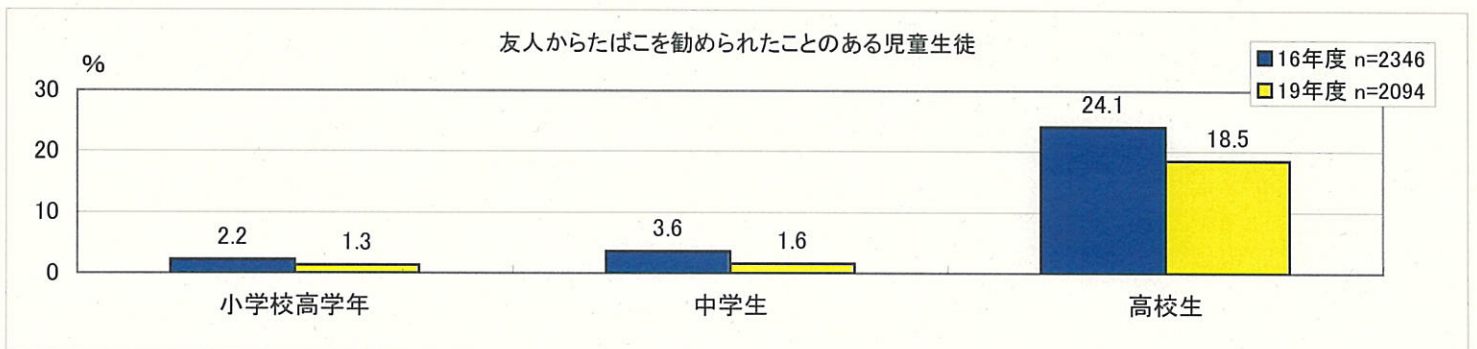
	16年度							19年度						
	いない		いる		わからない		合計	いない		いる		わからない		合計
	数	%	数	%	数	%		数	%	数	%	数	%	
小4	238	63.1	14	3.7	125	33.2	377	264	70.6	12	3.2	98	26.2	374
小5	260	59.5	28	6.4	149	34.1	437	328	80.2	8	2.0	73	17.8	409
小6	320	77.3	14	3.4	80	19.3	414	270	76.1	6	1.7	79	22.3	355
中1	161	71.9	12	5.4	51	22.8	224	143	78.1	2	1.1	38	20.8	183
中2	143	57.2	19	7.6	88	35.2	250	139	66.2	4	1.9	67	31.9	210
中3	120	56.3	15	7.0	78	36.6	213	146	72.6	13	6.5	42	20.9	201
高1	51	38.3	46	34.6	36	27.1	133	62	48.1	21	16.3	46	35.7	129
高2	46	30.9	66	44.3	37	24.8	149	41	34.2	38	31.7	41	34.2	120
高3	27	17.9	89	58.9	35	23.2	151	38	29.2	61	46.9	31	23.8	130
合計	1,366	58.2	303	12.9	679	28.9	2,348	1,431	67.8	165	7.8	515	24.4	2,111



(15) 友人からたばこをすすめられたことがある

友人から勧められことがある児童生徒の割合は減少している。しかし、高校生での割合は高い傾向にある。

	16年度					19年度				
	ない		ある		合計	ない		ある		合計
	数	%	数	%		数	%	数	%	
小学生	1,200	97.7	28	2.3	1,228	1,111	98.7	15	1.3	1,126
中学生	661	96.4	25	3.6	686	580	98.3	10	1.7	590
高校生	328	75.9	104	24.1	432	308	81.5	70	18.5	378
合計	2,189	93.3	157	6.7	2,346	1,999	95.5	95	4.5	2,094

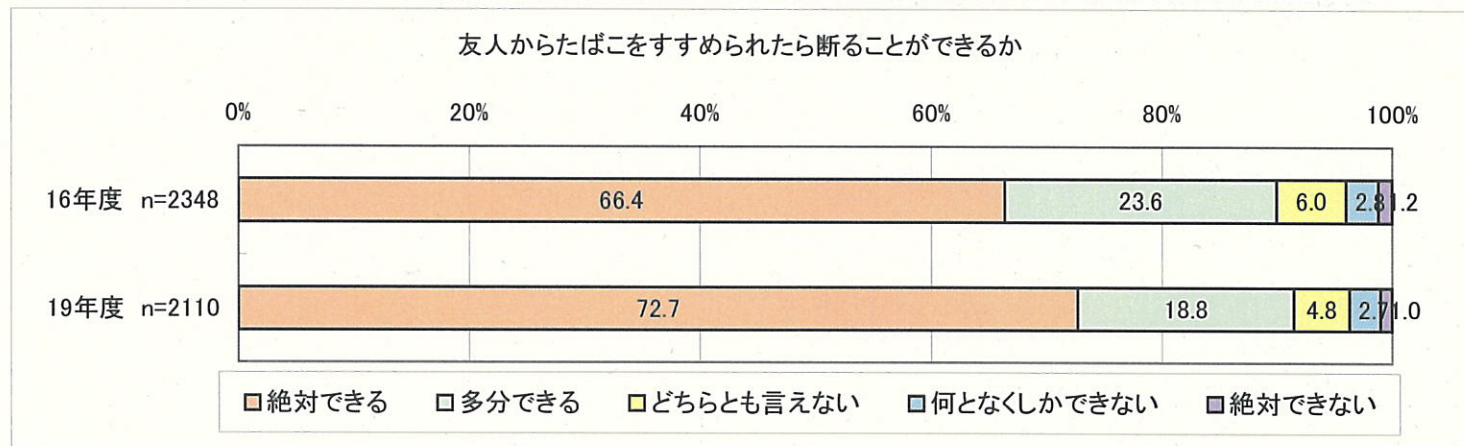




(16) 友人からたばこをすすめられたら断ることができるか

全体で「絶対できる」との回答の割合が増加している。しかし、中学生、高校生での回答の割合は小学生に比べ低い。

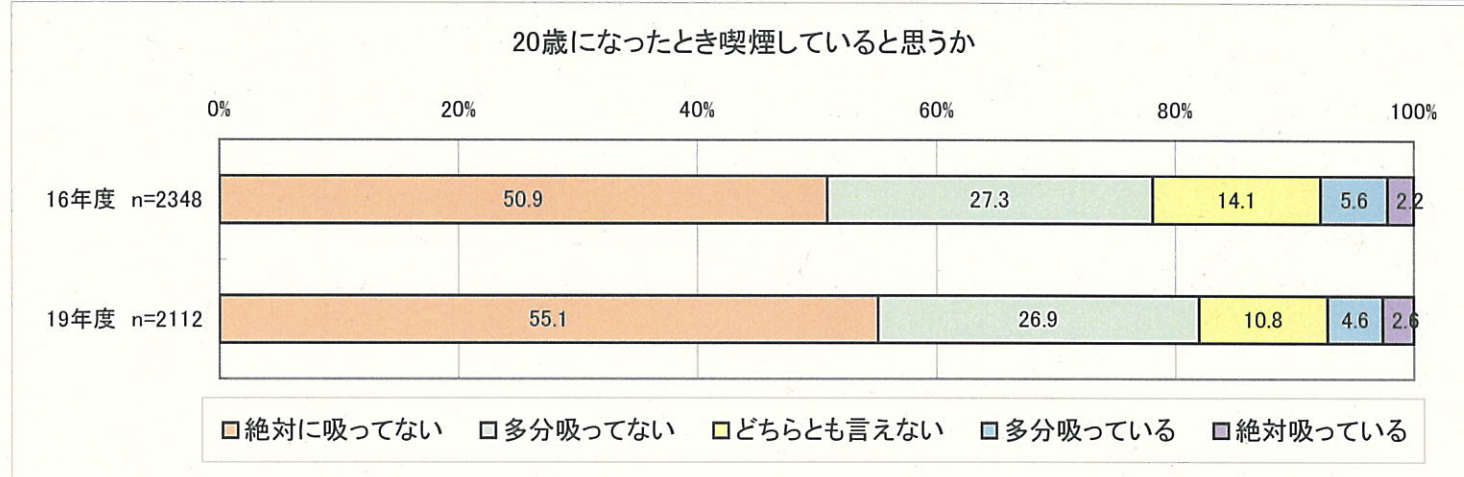
	学年	絶対できる		多分できる		どちらとも言えない		何となくしかできない		絶対できない		合計
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	
16年度	小学生	918	74.8	223	18.2	53	4.3	22	1.8	12	1.0	1,228
	中学生	400	58.2	210	30.6	47	6.8	23	3.3	7	1.0	687
	高校生	240	55.4	121	27.9	41	9.5	21	4.8	10	2.3	433
	合計	1,558	66.4	554	23.6	141	6.0	66	2.8	29	1.2	2,348
19年度	小学生	914	80.3	161	14.1	36	3.2	20	1.8	7	0.6	1,138
	中学生	388	65.3	144	24.2	29	4.9	24	4.0	9	1.5	594
	高校生	232	61.4	91	24.1	36	9.5	13	3.4	6	1.6	378
	合計	1,534	72.7	396	18.8	101	4.8	57	2.7	22	1.0	2,110



(17) 20歳になったとき喫煙していると思うか

「絶対吸っていない」との回答の割合が増加している。特に、中学生、高校生での割合が増加している。

	学年	絶対に吸ってない		多分吸ってない		どちらとも言えない		多分吸っている		絶対吸っている		合計
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	
16年度	小学生	639	52.0	329	26.8	159	12.9	76	6.2	25	2.0	1,228
	中学生	347	50.5	195	28.4	109	15.9	23	3.3	13	1.9	687
	高校生	210	48.5	116	26.8	62	14.3	32	7.4	13	3.0	433
	合計	1,196	50.9	640	27.3	330	14.1	131	5.6	51	2.2	2,348
19年度	小学生	616	50.2	314	25.6	121	9.9	62	5.0	26	2.1	1,139
	中学生	323	54.4	169	28.5	72	12.1	21	3.5	9	1.5	594
	高校生	225	59.4	85	22.4	35	9.2	14	3.7	20	5.3	379
	合計	1,164	55.1	568	26.9	228	10.8	97	4.6	55	2.6	2,112

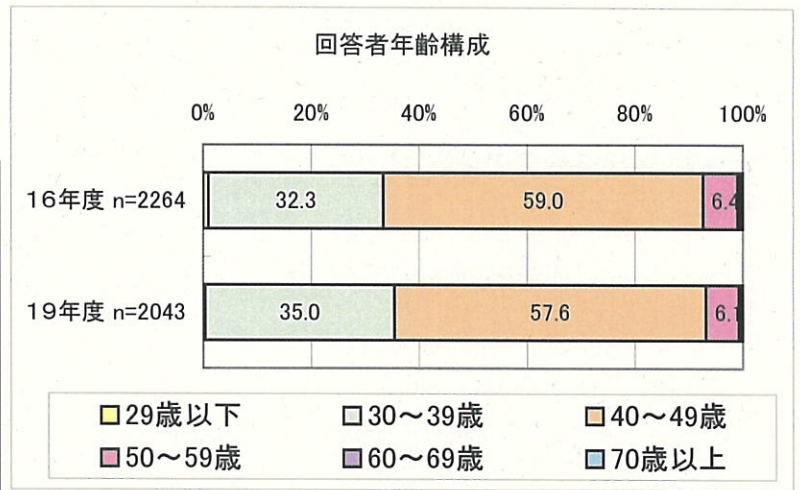




## 5. 保護者 調査結果

### (1) 対象者の年齢

	16年度		19年度	
	数	%	数	%
29歳以下	22	1.0	7	0.3
30～39歳	732	32.3	716	35.0
40～49歳	1,335	59.0	1,176	57.6
50～59歳	145	6.4	125	6.1
60～69歳	14	0.6	10	0.5
70歳以上	7	0.3	4	0.2
無回答	9	0.4	5	0.2
合計	2,264	100.0	2,043	100.0



### (2) 対象者の児童生徒との関係

16年度、19年度ともに、約98%が  
両親からの回答であった。

	16年度		19年度	
	数	%	数	%
父	748	33.0	563	27.6
母	1,469	64.9	1,441	70.5
祖父	10	0.4	6	0.3
祖母	12	0.5	16	0.8
その他	15	0.7	5	0.2
無回答	10	0.4	12	0.6
合計	2,264	100.0	2,043	100.0

### (3) 他人のたばこの煙を吸うだけで、自分の 体によくないことを知っているか

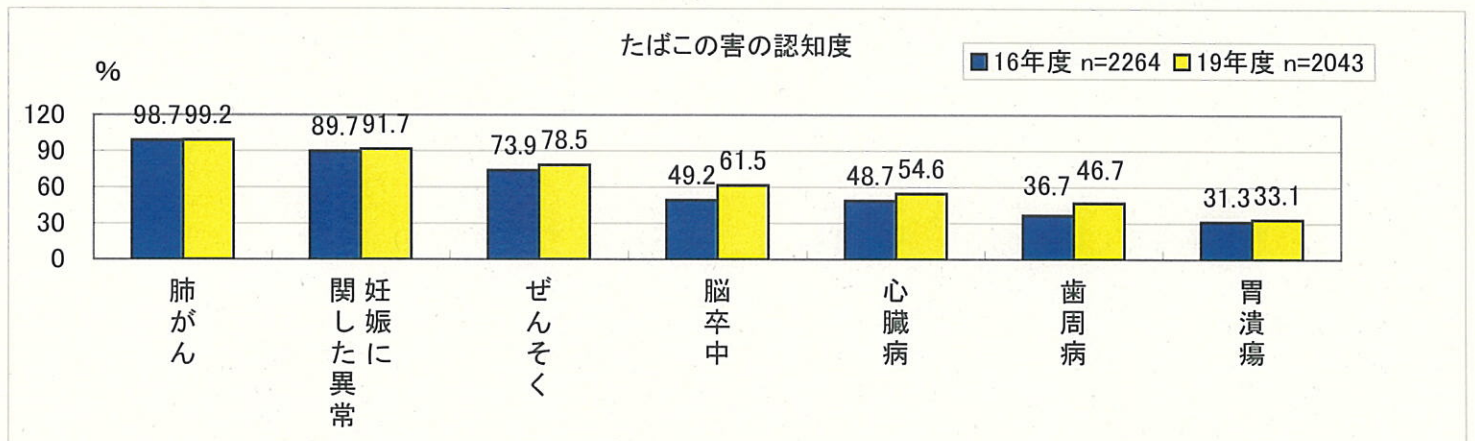
16年度、19年度ともに99%以上の保護者が  
「知っている」と回答してる。

	16年度		19年度	
	数	%	数	%
知っている	2,244	99.1	2,028	99.4
知らない	14	0.6	8	0.4
無回答	6	0.3	5	0.2
合計	2,264	100.0	2,041	100.0

### (4) たばこが影響して起こると思われる病気 (複数回答)

「脳卒中」「心臓病」「歯周病」になるとの  
回答の割合が増加している。

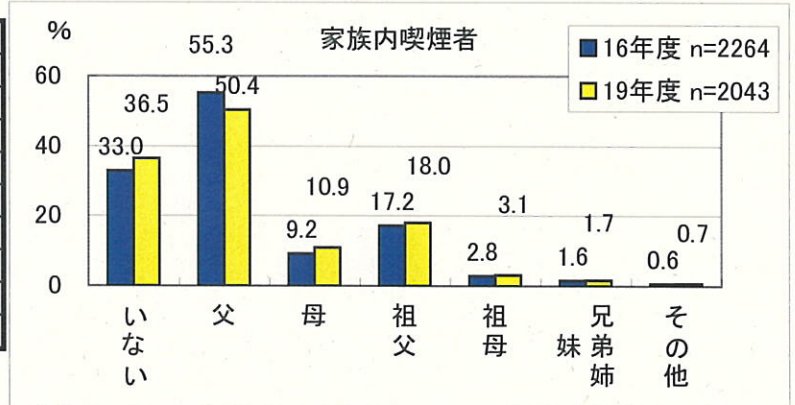
	16年度		19年度	
	数	%	数	%
肺がん	2,235	98.7	2,027	99.2
妊娠に関する異常	2,030	89.7	1,874	91.7
ぜんそく	1,673	73.9	1,603	78.5
脳卒中	1,113	49.2	1,257	61.5
心臓病	1,102	48.7	1,116	54.6
歯周病	831	36.7	955	46.7
胃潰瘍	708	31.3	677	33.1
無回答	19	0.8	8	0.4
回答者数	2,264		2,043	



(5)各家庭での喫煙者(複数回答)

喫煙者のいない家庭が増加している。父親の喫煙が減少し、母親の喫煙が増加している。

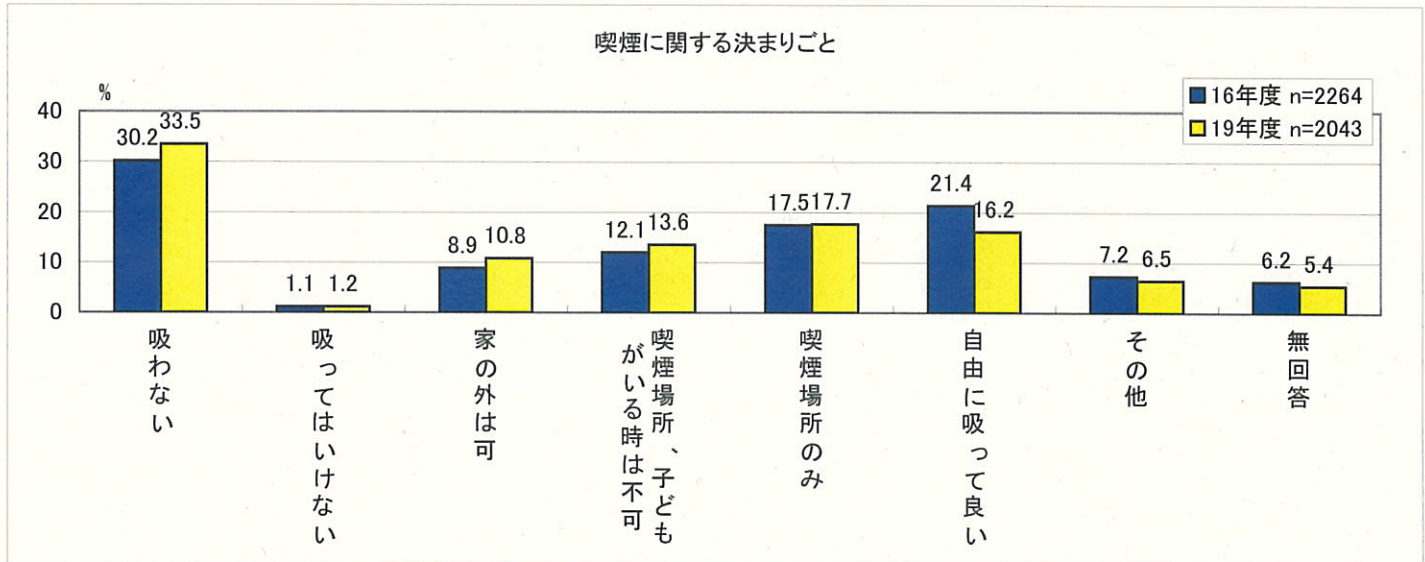
	16年度		19年度	
	数	%	数	%
いない	746	33.0	746	36.5
父	1,251	55.3	1,029	50.4
母	208	9.2	223	10.9
祖父	389	17.2	368	18.0
祖母	64	2.8	64	3.1
兄弟姉妹	36	1.6	34	1.7
その他	14	0.6	15	0.7
回答者数	2,264		2,043	



(6)家庭内で喫煙する際のきまりや配置

家庭内で何らかの取り決めをしている家庭の割合が増加している。

項目	16年度		19年度	
	数	%	数	%
吸わない	684	30.2	685	33.5
吸ってはいけない	26	1.1	24	1.2
家の外は可	201	8.9	221	10.8
喫煙場所、子どもがいる時は不可	273	12.1	277	13.6
喫煙場所のみ	397	17.5	362	17.7
自由に吸って良い	484	21.4	330	16.2
その他	164	7.2	132	6.5
無回答	141	6.2	110	5.4
回答者数	2,264		2,043	





(7)各家庭の子どもの喫煙状況

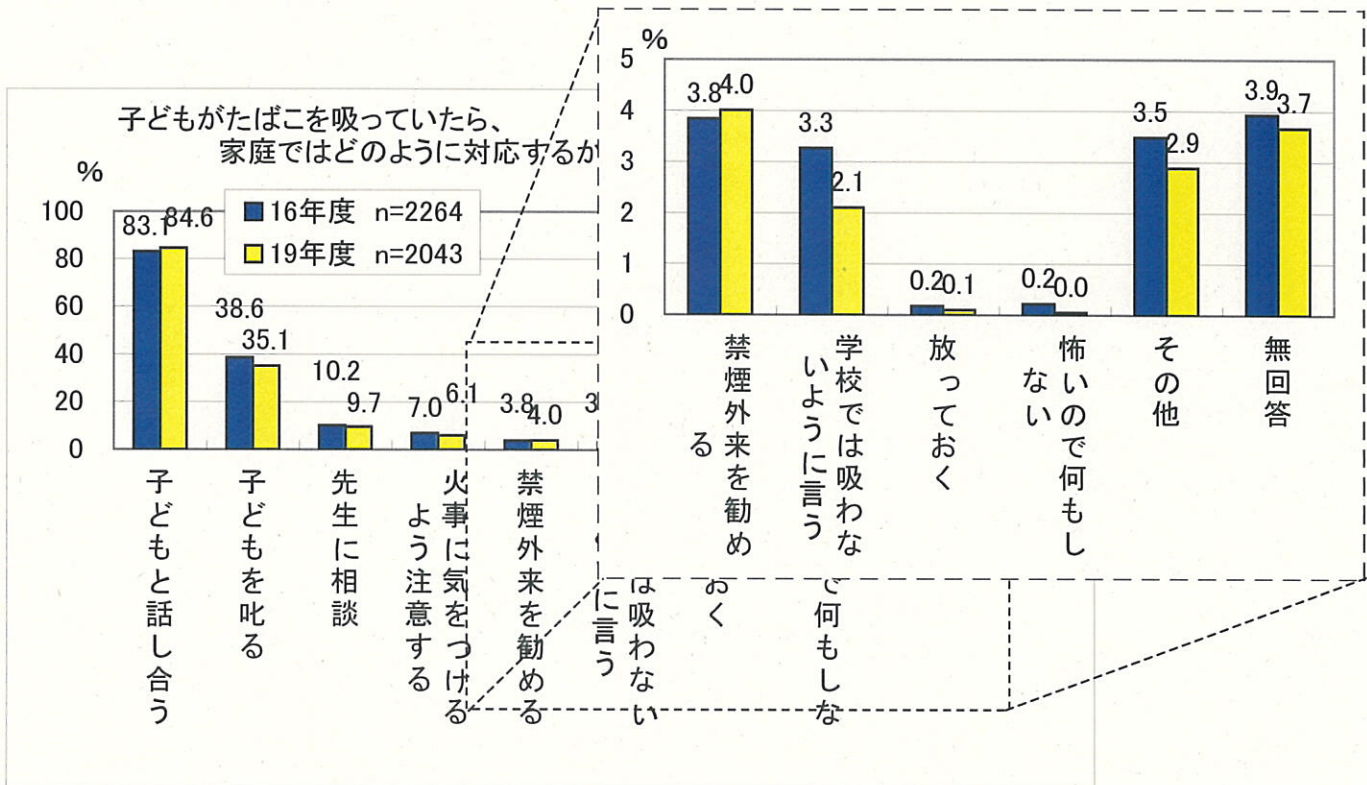
16年度、19年度ともに「吸っていない」との回答の割合が多くみられた。

		吸っていない		吸っている		以前吸っていたがやめた		わからない		無回答		合計
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	
16年度	小学生	1190	98.0	11	0.9	0	0.0	5	0.4	8	0.7	1,214
	中学生	678	98.1	7	1.0	0	0.0	5	0.7	1	0.1	691
	高校生	327	91.3	12	3.4	10	2.8	9	2.5	0	0.0	358
	合計	2,195	97.0	30	1.3	10	0.4	19	0.8	9	0.4	2,263
19年度	小学生	1,122	99.5	2	0.2	0	0.0	2	0.2	2	0.2	1,128
	中学生	577	98.8	3	0.5	0	0.0	2	0.3	2	0.3	584
	高校生	311	94.0	9	2.7	0	0.0	7	2.1	2	0.6	331
	合計	2,010	98.4	14	0.7	0	0.0	13	0.6	6	0.3	2,043

(8)子どもがたばこを吸っていたら、家庭ではどのように対応するか(複数回答)

16年度、19年度ともに「子供と話し合う」との回答が多く、次いで「子どもを叱る」との回答が多くみられた。その他の回答では「たばこの健康への害を教える」「考えたこともない」「殴ってでもやめさせる」「自分も一緒にやめる」などがあつた。

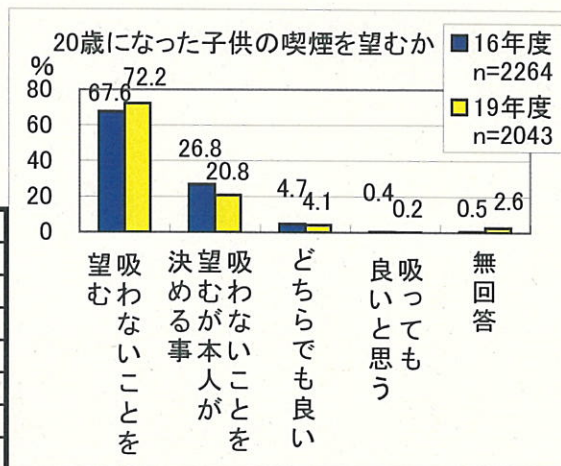
項目	16年		19年	
	数	%	数	%
子どもと話し合う	1,882	83.1	1,728	84.6
子どもを叱る	874	38.6	718	35.1
先生に相談	232	10.2	198	9.7
火事に気をつけるよう注意する	158	7.0	124	6.1
禁煙外来を勧める	87	3.8	82	4.0
学校では吸わないように言う	74	3.3	43	2.1
放っておく	4	0.2	2	0.1
怖いので何もしない	5	0.2	1	0.0
その他	79	3.5	59	2.9
無回答	89	3.9	75	3.7
回答者数	2,264		2,043	





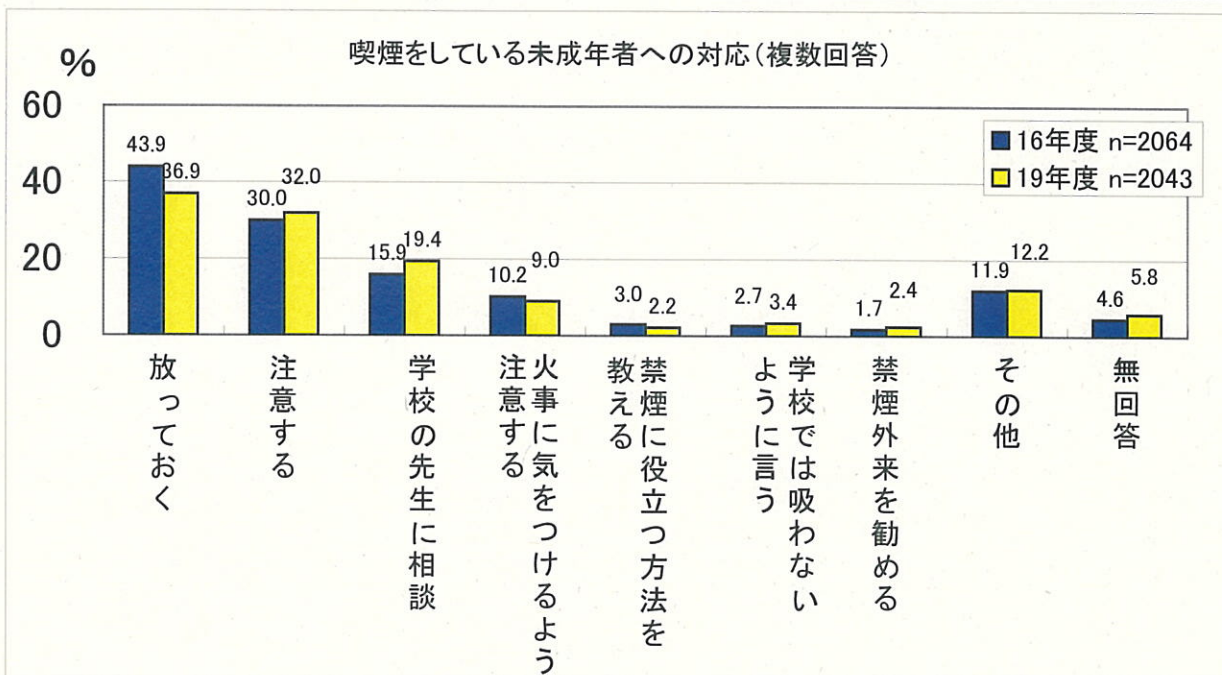
(9)子どもが20歳になった時、タバコを  
吸わないことを望むか  
「吸わないことを望む」との回答の割合が  
増加している。

項目	16年度		19年度	
	数	%	数	%
吸わないことを望む	1,530	67.6	1,475	72.2
吸わないことを望むが本人が決める事	607	26.8	425	20.8
どちらでも良い	106	4.7	84	4.1
吸っても良いと思う	9	0.4	5	0.2
無回答	12	0.5	54	2.6
合計	2,264	100.0	2,043	100.0



(10)地域で未成年者の喫煙を見たとき、どのように対応するか(複数回答)  
「放っておく」との回答の割合が減少し、「注意する」「学校の先生に相談」との回答の割合が増加した。  
その他の回答では、「その保護者に伝える」「知っている子であれば注意する」「注意したいが相手によっては怖い」などが多くみられた。

項目	16年度		19年度	
	数	%	数	%
放っておく	995	43.9	754	36.9
注意する	679	30.0	653	32.0
学校の先生に相談	360	15.9	396	19.4
火事に気をつけるよう注意する	231	10.2	184	9.0
禁煙に役立つ方法を教える	68	3.0	45	2.2
学校では吸わないように言う	60	2.7	69	3.4
禁煙外来を勧める	39	1.7	50	2.4
その他	270	11.9	250	12.2
無回答	105	4.6	119	5.8
回答者数	2264		2,043	

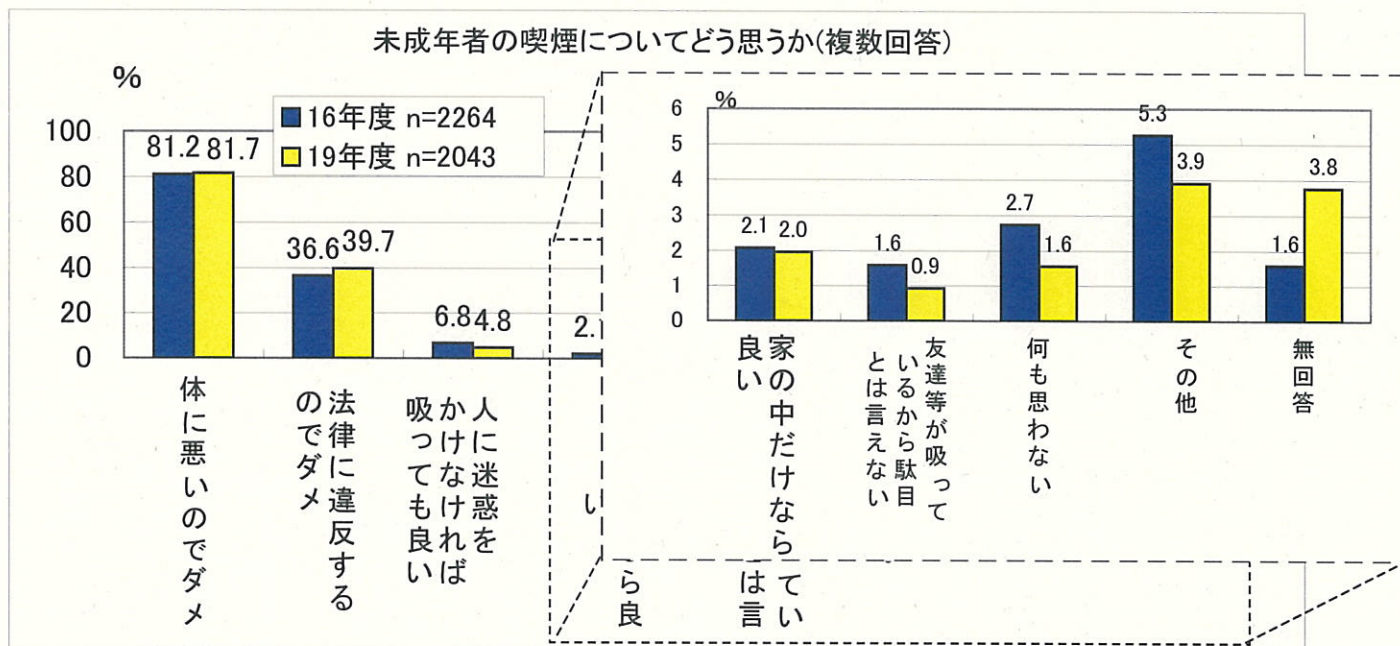




(11) 未成年者の喫煙についてどう思うか(複数回答)

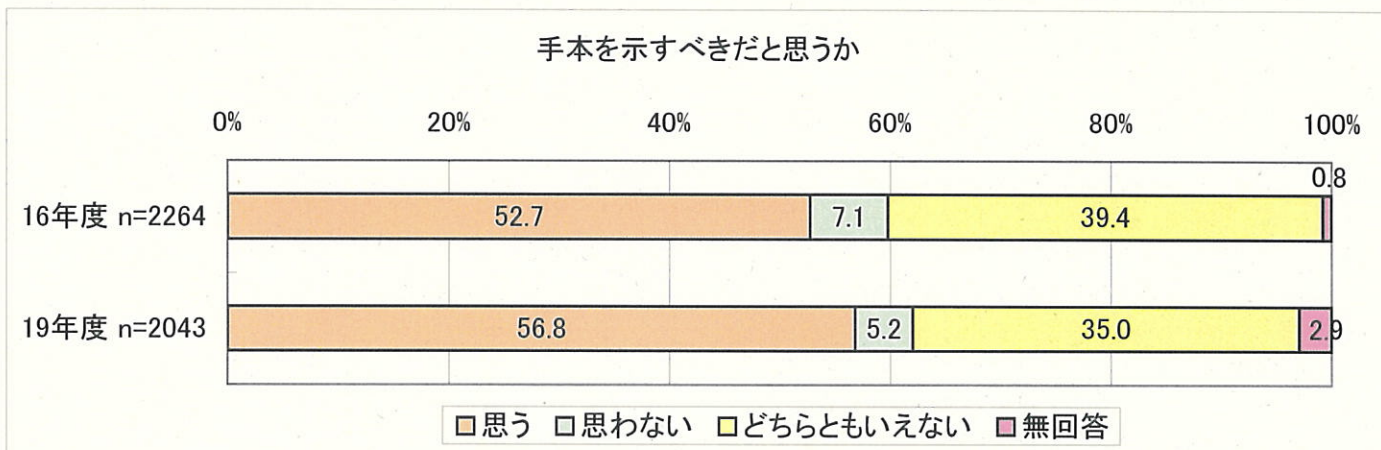
「体に悪いのでダメ」との回答の割合が多く、次いで「法律に違反するのでダメ」との回答が多かった。その他の回答では、「自分自身で考えること」「みっともない」「親の(家庭の)問題」といった回答がみられた。

項目	16年度		19年度	
	数	%	数	%
体に悪いのでダメ	1,838	81.2	1,669	81.7
法律に違反するのでダメ	828	36.6	812	39.7
人に迷惑をかけなければ吸っても良い	154	6.8	98	4.8
家の中だけなら良い	47	2.1	40	2.0
友達等が吸っているから駄目とは言えない	36	1.6	19	0.9
何も思わない	62	2.7	32	1.6
その他	119	5.3	80	3.9
無回答	36	1.6	77	3.8
回答者数	2,264		2,043	



(12) 保護者はタバコを吸わない手本を示すべきだと思うか  
手本を示すべきだと思う保護者の割合が増加している。

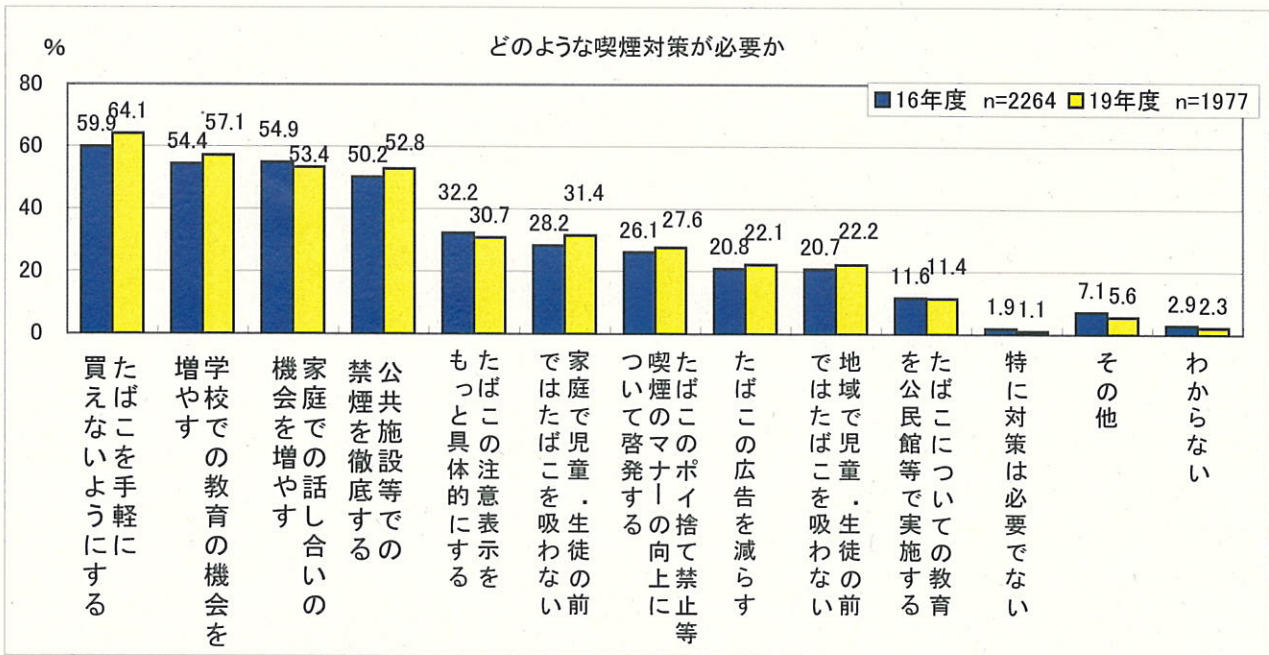
項目	16年度		19年度	
	数	%	数	%
思う	1,194	52.7	1,161	56.8
思わない	160	7.1	107	5.2
どちらともいえない	892	39.4	715	35.0
無回答	18	0.8	60	2.9
合計	2,264	100.0	2,043	100.0



(13) 児童・生徒の喫煙を防止するためにはどのような対策が必要だと思うか(複数回答)

「たばこを手軽に買えないようにする」「学校での教育の機会を増やす」「公共施設での禁煙を徹底する」などの回答の割合が増加している。その他の回答では「たばこの価格をあげる」「たばこの害についてもっと具体的に教える」「たばこの販売禁止」「喫煙する大人のマナーを向上させる」「たばこの広告をなくす」などがみられた。

項目	16年度		19年度	
	数	%	数	%
たばこを手軽に買えないようにする	1,356	59.9	1,267	64.1
家庭での話し合いの機会を増やす	1,243	54.9	1,055	53.4
学校での教育の機会を増やす	1,231	54.4	1,129	57.1
公共施設等での禁煙を徹底する	1,136	50.2	1,044	52.8
たばこの注意表示をもっと具体的に	729	32.2	607	30.7
家庭で児童・生徒の前ではたばこを吸わない	638	28.2	621	31.4
たばこのポイ捨て禁止等喫煙マナーの向上について啓発する	590	26.1	545	27.6
たばこの広告を減らす	470	20.8	437	22.1
地域で児童・生徒の前ではたばこを吸わない	468	20.7	438	22.2
たばこについての教育を公民館等で実施する	262	11.6	225	11.4
特に対策は必要でない	42	1.9	21	1.1
その他	160	7.1	110	5.6
わからない	65	2.9	45	2.3
回答者数	2,264		1,977	





## 6. まとめ

(1) 16年度に比較し、より多くの児童生徒が、たばこに関しての正しい知識をもっており、とくに「心臓病」「口腔内疾患」など、たばこの害としてあまり認知されていなかったことに関する知識の高まりがみられた。しかし、「大人っぽい」「カッコいい」等のイメージを持っている児童生徒もおり、さらなる知識の普及を進めていく必要がある。

(2) たばこを一口でも口にしたことのある児童生徒の割合は、特に高校生で減少していた。喫煙に対する社会環境の変化、地域、学校での喫煙防止教育の成果が考えられる。しかし、初めて口にした時期を見ると、小学生の頃との回答が多くみられ、より低年齢からの喫煙防止への取り組みが必要であると考えられる。

(3) たばこを口にしたきっかけを見ると、「なんとなく」「覚えていない」など漠然とした動機や「カッコよさそう」「おいしそう」といった好奇心が多くみられたことから、たばこについて話し合い、考える機会をもつことが必要であると考えられる。また、「友人からすすめられた」との回答の割合も多く、友人との関係の中でどのように対応するかということも考えていく必要があると思われる。

(4) たばこを手に入れる方法としては、「家にあるたばこをもらった」「友達からもらった」の回答の割合は依然多かった。「店外の自動販売機」との回答の割合も多く、また「店内の自動販売機」との回答の割合は増加している状況であり、「成人識別たばこ自動販売機」の導入が効果を上げると期待される。また、「コンビニやスーパー」「タバコ屋」といった対面販売での購入の割合も増えていることから、社会全体での、未成年に対する喫煙防止への取り組み、その意識の向上が必要であると思われる。

(5) 家庭をみると、喫煙者のいる家庭の割合はわずかではあるが減少している。その詳細を見ると、父親の喫煙者の割合は減少し、母親の喫煙者の割合が増加している。また、家庭内での喫煙に対する取り決めを見ると、「自由に吸って良い」との割合が減少し、なんらかの取り決めを行っている家庭の割合が増加している。子どもをタバコから遠ざける配慮が見られることから、保護者の、未成年の喫煙防止への意識の高まりが考えられる。

平成15年の健康増進法施行から5年、社会全体で受動喫煙防止に向けて様々な取り組みがなされ、喫煙に対しての社会環境は大きく変化した。家庭、学校、地域を上げての喫煙防止への取り組みの成果が、児童生徒の喫煙経験者の減少という結果として表れたと考えられる。今後さらに未成年者の喫煙防止に向け、家庭・学校・地域が一体となって取り組んでいくことが必要であると思われる。